

七夕クイズ 全30問

Q1. 七夕は毎年、何月何日に祝われることが多い？

- ① 7月7日
- ② 3月3日
- ③ 5月5日

ヒント:「7」が二つ並ぶ日です。

答え:① 7月7日 七夕は7月7日。「7」が並ぶこの日に、星にちなんだ行事が行われます。

Q2. 七夕の夜、一年に一度だけ会えるとされる織姫と、もう1人は誰？

- ① 彦星
- ② 桃太郎
- ③ 一寸法師

ヒント:天の川をはさんで輝く、男性の星です。

答え:① 彦星 答えは彦星。織姫と天の川をはさみ、年に一度だけ会えるとされます。

Q3. 七夕に、願いごとを書いてつるす細長い紙を何という？

- ① 短冊
- ② 千羽鶴
- ③ おみくじ

ヒント:五色の色がある、細長い紙です。

答え:① 短冊 答えは短冊。願いごとを書いて笹竹につるす、五色の細長い紙です。

Q4. 七夕の飾りをつるす植物は？

- ① 笹(竹)
- ② 松
- ③ ひまわり

ヒント:まっすぐ伸びて、さらさらと音を立てる植物です。

答え:① 笹(竹) 答えは笹(竹)。まっすぐ天に伸び、願いを天に届けるとされます。

Q5. 織姫と彦星が会うために渡るとされる、夜空の川を何という？

- ① 天の川
- ② 三途の川
- ③ ナイル川

ヒント:夏の夜空に、白くかかって見える星の帯です。

答え:① 天の川 答えは天の川。星が集まり夜空に川のように見える、星の帯です。

Q6. 七夕の行事は、もともとどこの国から伝わったとされる？

- ① 中国
- ② アメリカ
- ③ インド

ヒント:古くから日本に多くの文化を伝えた、隣の大きな国です。

答え:① 中国 答えは中国。中国から伝わった行事がもとになっているとされます。

Q7. 七夕に食べる行事食として知られる、細長い麺は？

- ① そうめん
- ② うどん
- ③ そば

ヒント:夏に冷やして食べる、白く細い麺です。

答え:① そうめん 答えはそうめん。天の川や織姫の糸に見立てた、七夕の行事食です。

Q8. 童謡「たなばたさま」。「ささのは さらさら」の次に続くのは？

- ① のきばにゆれる
- ② そらにきらきら
- ③ かわにながれる

ヒント:軒(のき)の先で、笹飾りが揺れる様子です。

答え:① のきばにゆれる 答えは「のきばにゆれる」。童謡「たなばたさま」の歌い出しです。

Q9. 七夕に短冊で願いごとをするのは、どんな思いを込めて？

- ① 願いがかなうように
- ② 天気が悪くなるように
- ③ こわい夢を見るように

ヒント:短冊に書くのは、こうなってほしいという気持ちです。

答え:① 願いがかなうように 答えは「願いがかなうように」。短冊に思い思いの願いを書きます。

Q10. 織姫が得意としていたとされる仕事は？

- ① 機織り(布を織ること)
- ② 料理
- ③ 畑仕事

ヒント:「織姫」の「織」という字がヒントです。

答え:① 機織り(布を織ること) 答えは機織り。織姫は機織りの上手な働き者だったと伝えられます。

Q11. 七夕の短冊によく使われる「五色」。次のうち含まれないのは？

- ① ピンク(桃色)
- ② 赤
- ③ 白

ヒント:古代中国の「五行」にもとづく色の組み合わせです。

答え:① ピンク(桃色) 答えはピンク。五色は青(緑)・赤・黄・白・黒(紫)で、五行にもとづきます。

Q12. 七夕は、星にちなんで別名で何と呼ばれる？

- ① 星祭り
- ② 月見
- ③ 雪まつり

ヒント:夜空の星にまつわる行事です。

答え:① 星祭り 答えは星祭り。星にちなんだ行事から、こうも呼ばれます。

Q13. 織姫星は、こと座の何という一等星？

- ① ベガ
- ② シリウス
- ③ 北極星

ヒント:夏の夜空に青白く輝く、こと座の星です。

答え:① ベガ 答えはベガ。織姫星は、こと座の一等星ベガにあたります。

Q14. 彦星は、わし座の何という一等星？

- ① アルタイル
- ② アルデバラン
- ③ カノープス

ヒント:天の川をはさんで、ベガの反対側に輝きます。

答え:① アルタイル 答えはアルタイル。彦星は、わし座の一等星アルタイルです。

Q15. ベガ・アルタイルと、はくちょう座のデネブを結んだものを何という？

- ① 夏の大三角
- ② オリオン座
- ③ 北斗七星

ヒント:夏の夜空に見える、3つの明るい星の三角形です。

答え:① 夏の大三角 答えは夏の大三角。ベガ・アルタイル・デネブを結んだ三角形です。

Q16. 全国的に有名な「仙台七夕まつり」が行われる時期は？

- ① 8月(月遅れの七夕)
- ② 2月
- ③ 11月

ヒント:暑い盛り of 夏に、大規模に行われます。

答え:① 8月(月遅れの七夕) 答えは8月。仙台七夕まつりは月遅れの8月に行われます。

Q17. 七夕の笹に下げる、豊作や金運を願うとされる網の形の飾りは？

- ① 網(投網)飾り
- ② 風船
- ③ こいのぼり

ヒント:魚をとる道具をかたどっています。

答え:① 網(投網)飾り 答えは網(投網)飾り。豊作や幸運を「すくう」願いが込められます。

Q18. 七夕飾りの「吹き流し」は、何に見立てたものとされる？

- ① 織姫の糸
- ② 雨
- ③ 風

ヒント:機織りが得意な織姫にちなんでいます。

答え:① 織姫の糸 答えは織姫の糸。吹き流しは織り糸に見立て、手芸の上達を願います。

Q19. 七夕の願いごとは、もともと何の上達を願う中国の行事に由来するとされる？

- ① 裁縫や手芸
- ② スポーツ
- ③ 料理だけ

ヒント:機織りの名手・織姫にあやかっただけです。

答え:① 裁縫や手芸 答えは裁縫や手芸。中国の「乞巧奠」に由来するとされます。

Q20. 七夕飾りを、昔は行事のあとどのようにする風習があった？

- ① 川や海に流した
- ② 燃やして食べた
- ③ 一年中飾った

ヒント:願いを水に乗せて、遠くへ送り出しました。

答え:① 川や海に流した 答えは「川や海に流した」。願いを水に乗せて送り出しました。

Q21. 「七夕」と書いて「たなばた」と読むのは、なぜとされる？

- ① 機織り機「棚機(たなばた)」に由来する
- ② 七つの夕方という意味
- ③ 外国語が由来

ヒント:神に捧げる布を織る、日本古来の行事が関わります。

答え:① 機織り機「棚機(たなばた)」に由来する

答えは「棚機(たなばた)」に由来。神に布を織る行事が関わります。

Q22. 織姫と彦星が会えるのは、どんなときだけという言い伝えがある？

- ① 七夕の夜が晴れているとき
- ② 満月のとき
- ③ 雪が降ったとき

ヒント:雨が降ると、川を渡れないといわれます。

答え:① 七夕の夜が晴れているとき 答えは「晴れているとき」。雨だと会えず、催涙雨とも呼ばれます。

Q23. 七夕は五節句の一つ。七夕の節句を音読みで何という？

- ① しちせき
- ② なのか
- ③ たなばたび

ヒント:「七」「夕」をそのまま音読みします。

答え:① しちせき 答えは「しちせき」。もとは七夕(しちせき)の節句と呼ばれました。

Q24. 笹飾りの「紙衣(かみこ)」は、何を願う飾りとされる？

- ① 裁縫の上達や厄よけ
- ② 食べ物が増えること
- ③ 足が速くなること

ヒント:紙で作った着物の形をしています。

答え:① 裁縫の上達や厄よけ 答えは裁縫の上達や厄よけ。紙で作った着物の形の飾りです。

Q25. 七夕飾りの「折り鶴」には、どんな願いが込められるとされる？

- ① 長寿や健康
- ② お金持ちになること
- ③ 背が伸びること

ヒント:鶴は「千年」と、めでたい生き物とされます。

答え:① 長寿や健康 答えは長寿や健康。鶴は長寿の象徴とされます。

Q26. 五色の短冊の「五色」は、何にもとづくとしてされる？

- ① 中国の「五行説」
- ② 虹の七色
- ③ 信号の色

ヒント:木・火・土・金・水という考え方です。

答え:① 中国の「五行説」 答えは「五行説」。木・火・土・金・水の考え方にもとづきます。

Q27. 織姫と彦星の伝説で、2人が会えなくなった理由とされるのは？

- ① 仲がよすぎて仕事を怠けたから
- ② けんかをしたから
- ③ 遠くへ引っ越したから

ヒント:機織りと牛飼いの仕事を忘れてしまいました。

答え:① 仲がよすぎて仕事を怠けたから 答えは「仕事を怠けたから」。天帝が天の川で引き離したとされます。

Q28. 七夕の起源の一つとされる中国の行事「乞巧奠」。「乞巧」とはどんな意味とされる？

- ① 技芸の上達を願う
- ② 食べ物を乞う
- ③ 長生きを願うだけ

ヒント:「巧」は、上手・じょうずという意味です。

答え:① 技芸の上達を願う 答えは「技芸の上達を願う」。乞巧奠は手芸の上達を願う行事です。

Q29. 旧暦の七夕(7月7日)は、今のおおよそいつごろにあたる？

- ① 8月ごろ
- ② 4月ごろ
- ③ 12月ごろ

ヒント:今の暦より、ひと月ほど遅れます。

答え:① 8月ごろ 答えは8月ごろ。旧暦の7月7日は、今の8月ごろにあたります。

Q30. 織姫と彦星が会うとき、天の川に橋をかけてくれるとされる鳥は？

- ① カササギ
- ② ツル
- ③ ハト

ヒント:黒と白の羽を持つ、カラスに似た鳥です。

答え:① カササギ 答えはカササギ。翼を広げ、天の川に橋をかけるとされます。